

◎深沢支所の経費

深沢支所管理運営事務 【 深沢支所 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

計画の推進

コミュニティー活動の活性化

【事業の目的】

対象 市民及び自治町内会連合会等

意図 市民生活の中で頻度の高い用件について、身近なところで行政サービスを提供するため。

効果 市民の利便性の向上及び効率的な行政運営を図る。

【事業の内容】

(1) 深沢支所運営事務

- ・ 戸籍届、住民異動届及び印鑑の登録又は廃止に係る申請の処理、並びに諸証明書の交付を行った。
- ・ 国民年金及び国民健康保険の諸届出等の受理、並びに国民健康保険被保険者証の交付等を行った。
- ・ 市税及び諸証明手数料等の収納事務を行った。
- ・ 地域団体等との連絡、協調に関する事務を行った。

(2) 深沢支所管理事務

- ・ 冷凍機の改修等、深沢行政センターの維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢行政センターの設備改修(5-1-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
94,193	96,221	94,413		1,808
主な支出内訳				
・ 深沢支所運営事務				
事務補助嘱託員報酬 2人				1,981
文房具等消耗品費				620
電話、ファクシミリ等電信料				629
OA機器操作等に関する労働者派遣委託料				2,728
電子複写機保守業務委託料				94
深沢行政センター用地賃借料				1,142
軽自動車購入費				940
・ 深沢支所管理事務				
深沢行政センター光熱水費				8,258
施設維持修繕料				5,592
昇降機等施設保守点検手数料				2,258
施設総合管理業務委託料				23,940
冷凍機保守点検委託料				254
夜間機械警備委託料				279
自動扉保守点検委託料				243
植栽管理委託料				186
衛生害虫防除委託料				147
レジスター保守点検等委託料				96
冷凍機改修工事請負費				44,625
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,449

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-33 深沢支所管理運営事務 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス	294 支所窓口事務							
	コード及び 個別事業 名	294 地域団体事務							
		294 地域防災施設管理							
		295 行政センター施設管理							
主管課	深沢支所			関連課					
分野名	行財政運営、コミュニティー活動の活性化								
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細かな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	深沢地区人口	34,525人	34,091人	34,300人					
運営資源 状 況	決算値	94,413千円	46,865千円	50,107千円					
	(国・県)	8,449千円							
	(負担金等)	83千円	144千円	144千円					
	(一般財源)	85,881千円	46,721千円	49,963千円					
	人員配置数	7.0人	7.0人	7.0人					
	人 件 費	61,457千円	62,350千円	62,513千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	155,870千円	109,215千円	112,620千円					
	市民1人当 りの経費	883円	621円	643円					
	対象者1人 当りの経費	4,515円	3,204円	3,283円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※				
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
昼休み窓口全業務の実施 (17年度は9月から実施)	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日			
		実績値	毎日	毎日					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
住所戸籍異動	×	×	○	×	○	○	○	○	×
国保・年金	×	×	○	×	○	○	○	○	×
市税等の収納	×	×	○	×	○	×	○	○	×
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×	×	○	×	×

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ●施設管理のうち、「耐震・外壁工事等」は実施計画事業として要請しているが、同工事等は今後のローリング対応となっている。 ●昼窓開設時における届出受理の円滑処理。 ●地域団体の自立。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ●施設管理のうち、設備維持修繕の一部について実施計画事業として要請した。 ●昼窓開設時の職員体制を引き続き2班制で実施した。 ●地域団体の行う業務のうち、原則として事務は支所が、事業は団体が分担するようにした。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ●昼窓開設時における少人数対応での、届出受理の円滑処理。 ●地域団体の行う業務のうち、事務について支所が受け持ったが、この部分については団体運営上基本的かつ重要な事項が多いことが判った。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ●施設管理のうち、「耐震・外壁工事等」は継続して要請を行う。 ●職員数削減の中、より効率的、効果的な職務遂行のため、職員の資質の向上を図る。 ●地域団体については、各々の分担を明確にして、事務について支所が受け持ったが、引き続き自立を要請する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	●職員の資質の向上を目指す。 ●施設管理の円滑化並びに支所業務の適切かつ柔軟な体制づくりに努めていく。 ●地域団体の自立を引き続き要請する。		
担当課長氏名:	深沢支所長 石塚 俊雄		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	職員の資質の向上を目指すとともに、地域の拠点として市民サービスの拡充を図り、市民生活の安定・向上及び福祉の増進に努める。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子